



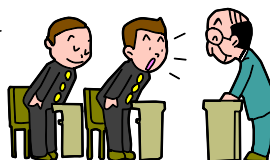
いたびつ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和5年8月28日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

さあ、2学期です！～目標は自分への約束～

さあ、2学期が始まりました。みなさんの元気な顔に会えてうれしいです。夏休みはどうでしたか？3年生は勉強、勉強で大変だったという人もいるかもしれません。自分のやりたかったことの半分もできなかったと嘆いている人もいるかもしれません。



～保護者の皆様へ～

2学期が始まりました。3年生は進路決定の大切な学期であるとともに、多くの行事もあります。体育大会、文化発表会、2年生修学旅行、中間考査、期末考査、学習到達度確認テスト(3年生)、保護者会などです。ただし、今後の感染状況によっては、縮小や中止も考えられますので、その際は、早めに連絡したいと思います。

2学期も、「学びを止めない」を合言葉に、職員一同全力でお子さまの学校生活をサポートしていきますのでご協力お願いいたします。(なお、3年生の進路関係の提出物については期限を守ってくださるようお願いいたします。)



2学期 始業式 学校長挨拶

板櫃中学校の生徒のみなさん、おはようございます。38日間の夏休みが終わりました。部活動においては、毎日の練習はもとより、大会・コンクールに全力で取り組んだことと思います。校長先生、教頭先生も夏休み前から試合やコンクールを見る機会がありました。もちろん、勝つことは大切ですが、負けることから得ることもあります。「あの時こうしていれば」「もっと練習していれば」と思ったかもしれませんが、3年間の経験は必ず、これからの人生に生きると思います。学習においても、宿題だけでなく、高校のオープンスクールへの参加など、2学期に向けて、そして将来に向けてがんばってくれたと思っています。しかし直ちに結果は出るとは限りませんし、成功するためには努力と失敗、そしてまた挑戦が必要です。

生徒のみなさん、長い2学期が始まりますが、「高い志をもつ」「夢をもつ」こと、それに向けて努力することを忘れないでほしいと思います。

さて、先生からみなさんへお願いが2つあります。

2学期に大事にしてほしいことの一つ目は、「協同」です。2学期は大きな行事があります。行事を通して自分自身を成長させていくのがこの2学期です。

協同は、同じことをするという意味ではなく、「同じ目的に向かっていろいろな人が力を合わせて



協力する」ことを表します。体育大会、文化発表会、修学旅行の取組の中で、意見の違いがあるかもしれませんが、むしろそれを出し合うことによってよりよいアイデアや準備ができるのではないのでしょうか。人にはそれぞれ個性があり、考え方や意見の違いがあります。違うのが当たり前なのです。この「違いを大切にする」ということが大事です。人と話すことが得意な人もあれば苦手な人もいます。足の速い人もあれば遅い人もいます。同じものを見ても感じ方は違う。違うのが当たり前なのです。この「人はそれぞれ違う」つまり、個性ということを大事にしながら、「協同」ということを大切にしてほしいと思います。

今日は少し長くなりましたが、素晴らしい2学期になることを期待して、校長先生の話とします。

1学期 始業式 生徒会副会長の話

こんにちは。副会長の田中です。みなさん、充実した夏休みを過ごせましたか。」この夏休みの間、部活を頑張った人や勉強を頑張った人もいます。2学期は行事がたくさんあります。たくさん行事を成功させ、よい思い出ができるようにみんなで協力していきたいです。3年生は、受験を控えているので、気を引き締めて生活していきましょう。以上です。



1学期 終業式 生徒会長の話

みなさん、おはようございます。生徒総会では、ご協力ありがとうございました。みなさんの意見を反映できるよう、生徒会執行部一同頑張ります。今、新型コロナやインフルエンザなどがまたはやっているようです。体調に気を付けて、この夏休みを過ごしましょう。そして、2学期には体育大会や文化発表会など大きなイベントがいくつもあります。みんなで協力して、よりよいものにしましょう。

1学期 終業式 学校長挨拶

板櫃中の生徒のみなさん、おはようございます。4月7日に始まった1学期が、もう終わろうとしています。約100日間あった1学期、どんなことが思い出に残っていますか。

本校の授業を見にこられた、地域の方々、保護者の方々、高校の校長先生方から「授業を受けている生徒の様子が、大変まじめで熱心である。休憩時間中の挨拶もよくしてくれる」「さすが板櫃中の生徒だ」と言っておられました。先生も、大変誇らしく思いました。4月の始業式では、「挑戦する」ということを話しました。そこで、生徒のみなさん、一人一人に聞きます。

- 「高い志をもち、挑戦する」ことができたでしょうか？
- 将来に向けて夢をもち、取り組めたでしょうか？
- 自分自身を甘やかさず、鍛えることができたでしょうか？そして、成長できたでしょうか？

学期の終わりという、節目にあたる今日、ぜひ、自分の姿を振り返ってみてください。

さて、夏休みを迎えるみなさんに、先生の教え子の話を紹介します。それは、「おもいやり」「やさしさ」です。道徳で「思いやり」「やさしさ」について授業をしていた時、ある男子の生徒が「先生、なんで学校でこんな授業をせないけんの」と聞いてきました。先生は驚いて「どうして、そんなことを聞くの」と尋ねました。すると、その生徒は、「だって、同じ人間やん。人に優しくしろとか、人を大切にしろっていうのは、授業で教えられることじゃないと思う。俺は、そう思う」と答えたのです。先生は返す言葉がありませんでした。それは、ある意味当たり前の言葉だったからです。

みなさんも1学期、友達とケンカしたり、トラブルになったりしたことはありませんか。それが、一方的なものではなかったですか。この生徒はクラスのムードメーカーで、怒られることもありました。が、今では、福岡市で会社を経営しています。

板櫃中のみなさん、人間はあえて不完全につくられています。先生たちだって完璧ではありません。そんな、不完全な人間に自然な、さりげない思いやりややさしさを加えて、人は初めて完全に近づけるのではないのでしょうか。先生も、板櫃中学校のみなさんの笑顔や頑張りを見ていると、力をもらえます。

板櫃中のみなさんは、素直な生徒ばかりです。夏休み前の時期だからこそ、今日の話を考えて、2学期からの学校生活に生かしてください。

最後に、2つ。3年生。3年生は、一生で一番勉強したといえる夏休みにして下さい。卒業後の進路実現のために努力を続けてください。応援しています。そして、この学校には北九州でNo.1の挨拶ができる生徒がいます。先生はいつも校長先生が集まる会議で自慢しています。1年生です。

1学期は板櫃中のみなさんが、頑張ったおかげで、からだの健康と学校の安全・安心を守ることができました。2学期もさらに「安全・安心、もっと笑顔の絶えない、毎日来たくなる学校」になることを期待して、校長先生からの話とします。2学期の始業式に元気な姿を見せてください。以上です。

【お知らせ】報道でもご存じかと思いますが、8月22日に、北海道・伊達市の小学校で、小学2年生の女児が体育の授業後に倒れ、熱中症疑いで搬送されましたが、その後、死亡するという事案が発生しています。夏休みが終わりますが、生徒のみなさんは次の点に注意してください。(以下の内容は tetoru で配信しています)

- ① 十分な睡眠と食事をとりましょう。暑い日は水分は多めに持ってきましょう。
- ② 急に激しい運動を行わず、準備運動を確実に行きましょう。
- ③ 活動前に水分を補給するとともに、活動中もこまめに水分を補給し休憩をとりましょう(先生の指示をしっかりと聞きましょう)。
- ④ (晴れ、曇りに関係なく)暑い日には帽子を着用します。また、着替えも持ってきましょう(主に部活動の生徒)。
- ⑤ 体調不良を感じたときは、すぐに先生や近くの友達に知らせましょう。